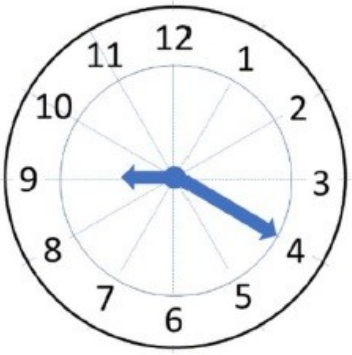
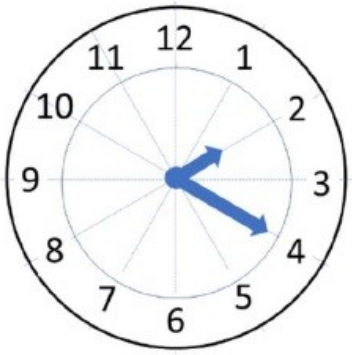
学習日：　　月　　日

2019年度　豊島岡女子学園中学２回目【算数】大問５

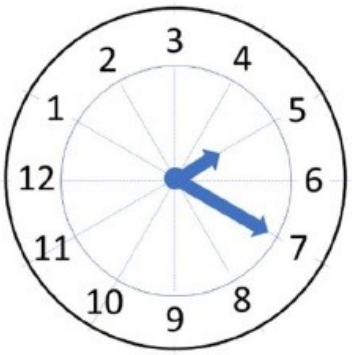
針と文字盤が回転できる時計があります。まず、好きな位置に長針と短針を動かします。ただし、針の位置は文字盤の数字に合わせるものとし、＜図１＞のように短針を９に、長針を４に合わせたときの時刻を９時20分と読むことにします。
短針と文字盤のそれぞれの動かし方は次の通りです。青のさいころと赤のさいころをそれぞれ１回ずつ投げます。青のさいころの出た目の分だけ短針を時計回りに動かし、赤のさいころの出た目の分だけ文字盤を反時計回りに動かします。



＜図１＞



＜図２＞



＜図３＞

例えば、青のさいころの出た目が５であったとき、＜図１＞の短針を時計回りに文字盤の数字に合わせて５だけ動かすと、＜図２＞のようになりました。このときの時刻を２時20分と読むことにします。次に、赤のさいころの出た目が３であったとき、＜図２＞の文字盤を反時計回りに３だけ動かすと、＜図３＞のようになりました。このとき、短針は５を、長針は７を指しているので、このときの時刻を５時35分と読むことにします。

（１）
はじめの時刻を９時20分に合わせ、さいころを投げます。青のさいころの出た目が４、赤のさいころの出た目が５であったとき、短針と文字盤を動かした後の時刻は何時何分になりますか。

（２）
はじめの時刻を１時45分に合わせ、さいころを投げます。青のさいころの出た目が〔　あ　〕、赤のさいころの出た目が〔　い　〕であったとき、短針と文字盤を動かした後の時刻は８時０分になりました。〔　あ　〕、〔　い　〕に入る数字をそれぞれ答えなさい。

（３）
はじめの時刻を４時〔　　〕分に合わせ、さいころを投げます。短針と文字盤を動かした後の時刻が２時25分になりました。〔　　〕に入る数字をすべて答えなさい。